

2018年10月19日
住友生命保険相互会社

東京都が発行する「東京グリーンボンド」への投資について

住友生命保険相互会社（社長 橋本雅博）は、東京都が発行する「東京グリーンボンド」への投資を決定しました。

「グリーンボンド」とは、環境事業に要する資金を調達するために発行する債券で、国際資本市場協会（International Capital Market Association：ICMA）が定義する「グリーンボンド」の特性に従った債券です。本債券の調達資金は、気候変動への適応、スマートエネルギー都市づくり、生活環境の向上に関連した事業等に充当される予定です。

当社は、経営方針のひとつとして「CSR経営方針」を策定し、国連が提唱した持続可能な開発目標「SDGs」も踏まえつつ、CSR経営を推進しています。

その一環として、資産運用においては、環境・社会・ガバナンスといった社会的課題の視点を取り入れた「ESG投資」を行っており、本債券への投資もこうした枠組みに貢献するものと考えています。

引き続き、ステークホルダーからの期待に応え、社会への責任を果たすとともに、資産運用の高度化を通じて、運用収益の向上・確保に取り組んでまいります。

<本債券の概要>

発行体 : 東京都 (S&P 格付け : A+)
発行額 : 総額 50 億円
年 限 : 30 年

以上